

## 5. Heartful Sweets (ハートフルスイーツ)

◎参加人数 20 名

### ◎活動内容

毎月第3土曜日にドナルドマクドナルドハウス\*<sup>1</sup> 仙台にて、手作りお菓子とカードを提供しています。可能であれば、入居者と一緒にお菓子作りをしています。

#### \*<sup>1</sup>ドナルドマクドナルドハウスとは…

ドナルドマクドナルドハウスは、県立子ども病院に入院しているお子さんの治療に付き添うご家族のための滞在施設です。

病院が自宅から遠い場所にある場合、家族の負担は精神的に肉体的にそして経済的にも大きいものになってしまいます。そのようなご家族をサポートするために生まれた施設であり、県内には私たちが活動を行なっている1施設しかありません。

### ◎活動発足の経緯

この活動は食品栄養学科の学生が主体となり、昨年度から継続して行っています。県立子ども病院へ臨地実習に行った際、入院する子ども達や、ご家族の力になりたいという思いを持った先輩方が立ち上げました。発足にあたり、子ども病院の副看護部長さん、仙台・ドナルドマクドナルドハウスのマネージャーさんにご協力いただきました。現在は、先輩方の思いを引き継いでこの活動を全学部に広げられるよう努めています。

### ◎活動の趣旨

入所されている方々へ手作りのお菓子、カードを通してホッとしてもらう時間を提供することが目的です。お菓子は、アレルギーや季節感、嗜好を考慮し提供しています。また、カードやラッピングはもらって嬉しいと思えるものを考えて作っています。

どちらも、手作りだからこそ表現できるものや、作った人の個性を大事にしています。

### ◎今年度の活動内容

以下のお菓子を作り、提供しました。(12～3月は2回実施。2・3月は予定。)

5月：ドーナツ

6月：ぐりとぐらのカステラ

7月～10月：食中毒防止のため活動休止

11月：アップルパイ

12月：雪だるまマフィン、スコーン

2月：ガトーショコラ、クッキー

3月：キャロットケーキ、なすのタルト



昨年度の取り組みをさらに盛り上げるために、新たに2つのことを取り入れました。

#### (1) カードにお菓子のレシピを添付すること

毎回、お菓子とともにアンケートを配っています。そのアンケートの内容に「美味しかった。入院している子どもが退院したら、作ってあげたいので、レシピを載せてほしい。」という要望があったため、実現しました。このレシピの添付は好評で、「レシピもあり、とても有難い」などというコメントを多くいただいています。

## 5. Heartful Sweets (ハートフルスイーツ)

(2) ご家族や子どもたちと一緒にお菓子をつくること

普段出来ない楽しい体験を通して入居者とのコミュニケーションの形成を図ることを目的に始めました。事前に施設に活動日と、お菓子作りの案内を掲示していただき、参加者を募っています。しかし、忙しいご家族の方が多く、今年度は1.2回しか一緒にお菓子作りをすることが出来ませんでした。

### ◎活動を通して考えたこと・今後の課題

活動を通し、利用者の方々にホッとした時間をプレゼントできたと感じたことが何度かありました。例えば、利用者さんの親子がお菓子作りに参加してくださった時のことです。入院している兄弟のお見舞いに来ていた際に、施設の方が声をかけたところ、喜んで参加してくれました。親子は終始笑顔で楽しそうに取り組んでいました。お菓子作り終了後、お母様より「娘とお菓子を作る時間がないのでとても楽しかったです」というお言葉をいただき、親子でゆっくりとホッとする時間を提供できたと感じました。また、毎回配布するアンケートには「毎回美味しくいつも楽しみにしています。お家で待っているお姉ちゃんに持っていきます！」などという温かいコメントを数多くいただきます。この活動を多くの方が楽しみにしてくれていることを実感するとともに、期待に応えられるよう、さらなる工夫が必要であることを考えさせられました。

今後の課題は、まず今年度の新たな取り組みである、(2) ご家族や子どもたちと一緒にお菓子をつくること、において参加者が少なかったため、時間や内容を再検討し、コミュニケーションを深められる場を作っていくことです。また、アレルギーの完全除去や野菜スイーツを作れなかったため、アンケートを参考にし、それらの実施にも努めていきたいです。さらに、名取の特別養護老人ホームうらやすさ

んより、お菓子提供の依頼がきているため、新たな活動拠点とし、この活動をより多くの人々に味わってもらえるよう工夫していきます。



現在の活動は食品栄養学科の学生が中心です。より多くの学生にこの活動を知ってもらい、参加者を全学科に広げていきたいです。

来年度は、より幅広い世代の人がホッとした時間を過ごせるよう工夫を凝らし、充実した活動にしていきたいと思います。